

ランチョンセミナー1

リグロス®(FGF-2)応用の可能性

～硬組織再生から次のステージへ～

Potential of Regroth® (FGF-2) Application
～From Hard Tissue Regeneration to the Next Stage.～

座長

白石歯科歯周再生クリニック 院長

白石 和仁 先生

演者
1

有楽町デンタルオフィス 院長

片山 明彦 先生

演者
2

なぎさ歯科クリニック 理事長

船登 彰芳 先生

日時

学会
1日目

2023年 **6月24日** [土]

12:00 ▶ 13:00 **現地開催のみ**

会場

第1会場(福岡国際会議場 3F メインホール)

本セミナーは現地開催です。
事前参加登録が必要となります。

※定員に達し次第募集を終了いたします。
<https://jacp41.jp/registration/regist.php>



リグロス® (FGF-2) 応用の可能性

～硬組織再生から次のステージへ～

Potential of Regroth® (FGF-2) Application

～From Hard Tissue Regeneration to the Next Stage.～

今日、様々な歯周組織再生における手技、フラップデザイン等が報告されているが集約されつつある。一方、多くの歯周組織再生材(剤)料が存在するなかでどの手技とどの材料の組み合わせがいいのか、明確な答えは出ていないのが現状である。

我々は、今まで再生が困難とされていた根分岐部病変(Ⅲ度)などに対してリグロス®と結合組織を併用し再生療法を行ってきた。これによりHopelessな歯の温存が可能となり、症例を積み重ねることである程度の知見が得られた。

また、リグロス®の主成分であるFGF-2は、塩基性線維芽細胞増殖因子であるため、その特性を生かした臨床応用を行い新たな可能性を探っている。

本講演では我々の経験、データをもとに現在考えられるテクニック、リグロス®の応用について供覧させていただき皆様と今後の可能性について議論したい。

片山 明彦 先生

Akihiko Katayama

有楽町デンタルオフィス 院長

Yurakucho Dental Office

ご略歴

- ・1999年 東京歯科大学歯学部卒業
- ・2007年 慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室講師(非常勤)
- ・2007年 稲毛デンタルクリニック開設
- ・2012年 有楽町デンタルオフィス開設
- ・2021年 東京歯科大学水道橋病院臨床准教授(非常勤)

特定非営利活動法人日本歯周病学会 専門医・指導医・評議員、
日本臨床歯周病学会認定医、ヨーロッパ審美学会 Affiliate member

船登 彰芳 先生

Akiyoshi Funato

なぎさ歯科クリニック 理事長

Nagisa Dental Clinic

ご略歴

- ・1987年 広島大学歯学部卒業
- ・1991年 石川県羽咋市にてなぎさデンタルクリニック開業
- ・1998年 石川県金沢市広岡にてなぎさ歯科クリニック移転開院

アメリカ歯周病学会会員、アメリカインプラント学会会員、
ヨーロッパインプラント学会会員、ヨーロッパ審美学会 Affiliate member

Drug Information

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。「禁忌を含む使用上の注意」の改訂に十分ご注意ください。

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

【効能・効果】 歯周炎による歯槽骨の欠損

〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

1. 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
2. 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。

【用法・用量】 歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては【臨床成績】の項を参照し適切な量を用いること。

【承認条件】 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

【使用上の注意】<抜粋>

1. 重要な基本的注意

- (1)本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。
- (2)術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

2. 副作用

本剤が投与された安全性評価対象症例429例中3例(0.7%)に副作用が認められた。その内訳は、適用部位における歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹および頭痛が各1例(0.2%)であった。臨床検査値異常は429例中51例(11.9%)に認められ、その主なものは尿中アルブミン陽性27例(6.3%)、尿中 β_2 ミクログロブリン上昇17例(4.0%)、尿中NAG上昇16例(3.7%)、CRP上昇6例(1.4%)等であった。(承認時)

頻度	1%以上	1%未満	頻度不明
分類			
適用部位および適用部位近傍		歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹	硬結、肥厚
精神神経系		頭痛	
臨床検査	尿中アルブミン陽性、尿中 β_2 ミクログロブリン上昇、尿中NAG上昇、CRP上昇	AST(GOT)上昇、ビリルビン上昇、CK(CPK)上昇、ALT(GPT)上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、単球増多、白血球減少、総蛋白上昇	

●その他の使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

2022年7月改訂(第6版)



歯周組織再生剤

リグロス® 歯科用液キット 600 μ g/1200 μ g
REGROTH® Dental Kit 600 μ g/1200 μ g トラフェルミン(遺伝子組換え) 製剤

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

製造販売元
【文献請求先及び
問い合わせ先】



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号
医薬品情報サービス室